

陳 情 文 書 表

平 2 3 陳 情 第 6 号	平成 2 3 年 3 月 1 日 受 理
件 名	北東アジア非核地帯設立に向け具体的な行動をとるよう政府に意見書提出を求める陳情
陳 情 者	秦野市菩提 1 4 6 6 - 5 高橋 紀代子
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>本市が平和都市宣言を制定し、日本非核宣言自治体協議会と平和市長会議に参加し、平和の構築に積極的な姿勢をとっていることを高く評価するとともに、誇りに思います。</p> <p>また、毎年 of 平和行進には市長、市議会議長、市会議員有志の方が激励を送ってくださること、市長においては平成 2 1 年 8 月に平和市長会議総会にも出席されたことを知り、うれしく思っております。</p> <p>一方で核兵器廃絶への歩みは遅く、また、通常兵器の超高度化が進む現在において、私たちの平和の確保は武力に頼らない安全保障の構築しかありえません。武器の使用は地球環境の汚染にも大きな悪影響を及ぼしています。いたずらに近隣諸国の軍備増強を懸念するのは、同じ土俵に立っての競争に陥るのみであるため、全く異なる発想を提案することが求められているといえます。そのような環境において「日本非核宣言自治体協議会の決議文や長崎平和宣言にも盛り込まれた北東アジアの非核地帯化」は、現実的で有効な安全保障体制であるといえます。非核地帯の拡大は核兵器の有用性を低下させ、核兵器廃絶を促します。また、非核地帯は核兵器に関する枠組みではありますが、ひいては全般的な安全保障に寄与するものでもあります。</p> <p>つきましては、アメリカ・ロシア・中国を含む、いわゆる「スリープラススリー」の北東アジア非核地帯化構想について、近隣諸国への具体的な働きかけを始めるよう、国に対して意見書を提出していただきたく陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 本市が日本非核宣言自治体協議会と平和市長会議に参加していること</p>	

を、より一層積極的に市民へ広報すること。

- 2 本市が非核宣言自治体協議会に参加している意義を十分に生かすため、北東アジア非核地帯化に向けた近隣諸国に対する具体的な働きかけを始めるよう、国に対して意見書を提出すること。